

”支える技術”ジー・エクス・パイルの三誠がお届けするインフォメーション・ペーパー。

# G-ECS NEWS

編集・発行人/高橋 進 発行所/株式会社三誠ジー・エクス・パイル事務局 本社〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町203箱崎公園ビル  
TEL:03-3639-5226 FAX:03-3639-8162 ホームページ <http://www.sansei-inc.co.jp>

2008 Aug Vol.7



## 三誠クオリティを実現するために、 他社の商品を提案することもあります。

時には、営業マンにとって、  
辛い選択もあるのです。

よくあることなのですが、私たちの商品がお客様の希望条件を満たさない場合があります。その場合、私たちは他社の商品を提案します。なぜならば、すべてはお客様の満足度を第一に考えているからで、不適切な商品を提案することとは、たとえコストダウンがお客様の命題でも行いません。

売上アップが営業マンの主務なので、正直言うと依頼された仕事はすべて受けたいと思うのが普通です。しかし、私たちはお客様にとっての最適なサービスの提供とは、適切な商品を提案することだと考えるのです。限られたコストの中で最適な提案を行えるのは、商品知識が豊富な三誠だからこそ可能な提案でもあるのです。

また、私たちが業界の中で違いを生み出すことができるのは、一級建築士の資格を持つ技術



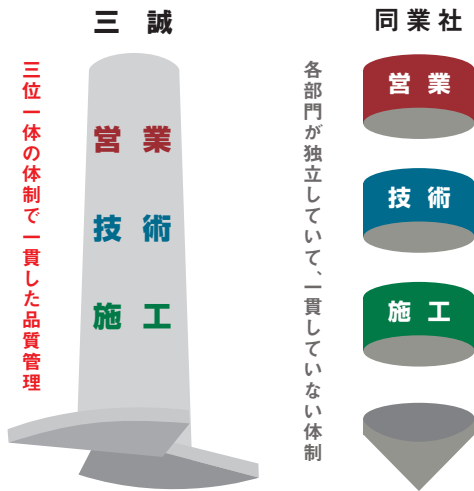
者が建物設計の性能要求を理解し、たうえで提案を行い、実際に現場に出て施工を行っているからです。開発技術者自身がお客様のところへ出向き、要望を直接聞くことでスピーディーな対応が可能となり、その結果、多くのユーザーからの信頼をいただいています。

三誠のクオリティを語る上で外せないキーワードは、“提案力”だと思います。それは、ただ商品を提案するだけではなく、施工完了にいたるまで全ての品質を管理するという意味も含めての“提案力”です。私たちは豊富な経験、確かな技術に裏付けされたこととなければ、お客様に提案することはありません。

**三誠というブランド。  
工法が認定されているという意味。**

私たちの主力商品である「G-ECS パイル」は商品としてではなく、工法として大臣認定を受けています。その意味は、商品を生産し販売するだけに留まるのではなく、工法を含めた提案、販売を行い製造から施工まで一貫して全てを管理できることです。三誠は、製造と施工の両面から管理でき、商品を単に流通経路に流さない、数少ないメーカーです。さらに、三誠という信頼のプラ

### 三誠と同業者の違い



提案から施工完了まで、よりスピーディーな対応が可能

ンドを維持するために、私たちは人材の育成にも力を入れています。お客様のニーズを感じ取り、確かな力に育つ技術・開発力は、日々の努力で培われるものでしかないと三誠は考えているのです。

**営業・技術・施工のつながりが支える、信頼のサポート。**

たとえば、技術に関する知識が少ない営業担当者に施工完了までの工程すべてを任せていいのだろうか、という不安がよぎることがありませんか？ 私たちはその不安を解決できる自信があります。なぜなら、営業・技術・施工の連携により、最適な対応ができるからです。お客様のニーズに最適な提案が可能なのは、各部門が部署を越えて常に情報交換を行い、専門的な知識を共有しているからです。

### Topics

#### トピックス

##### DHJ-15増車

6月16日に、DHJ-15を1台増車し、DHJ-15は計3台になりました。φ216・3及びφ267・4施工時に大きな即戦力となります。

##### 企業倒産が相次ぐ

(株)スルガコーポレーション(株)ゼファー、真柄建設(株)など、マンション物件を手がける建設業者の倒産が相次いでいます。要因は多岐にわたっていますが、建築基準法の改正、マンション業者への融資減、資材高騰などが主な要因だと考えられます。今後も楽観を許さない状況です。

##### 資材高騰が続く

鋼管は4月1日に20000円/t、7月1日に15000円/tと今年度に入り連続値上げが続いて、先端の厚板も同様な動きが止まりません。セメント、生コンについても1000円~3000円/m<sup>3</sup>と値上がりが続いています。しかし、これらの価格の値上がりは、末端価格にまで転嫁できない状況にあります。

##### 幹部社員研修実施

7月25日~26日の両日、全社幹部員20名を集め幕張O.V.T.Aにて研修を実施。昨今の経済情勢の共通認識及び下半期(8月~1月)の経営方針の確認と個人の決意が表明されました。

# G-ECS PILE。さまざまな条件下で、最良のソリューションとして採用されています。

## G-ECSパイル

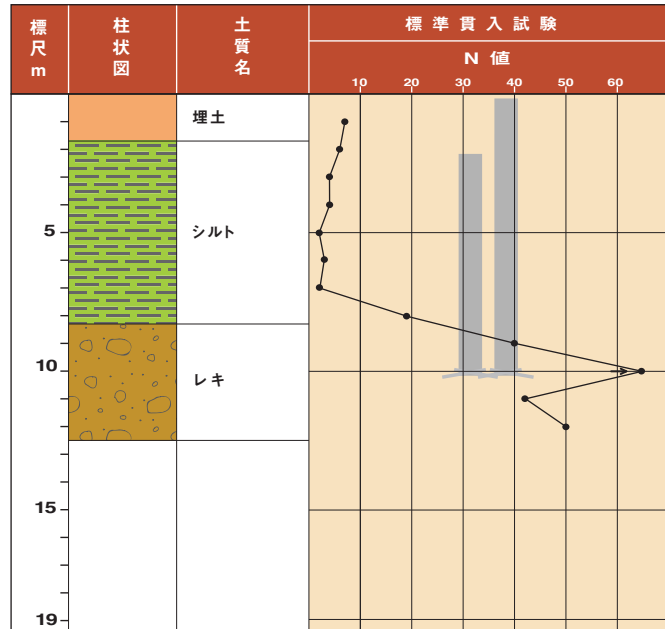
### 京都市擁壁工事

コストと性能が評価され、G-ECSパイル工法採用の京都初物件。京都市郊外の住宅地の一角に開発された宅地造成工事の擁壁工事です。当初、他工法で設計されていましたが、G-ECSパイル工法のメリット（コスト、性能、納期）を高く評価していただき、京都初物件につながりました。施工現場周辺の雨水が集まってくる地形のため、天気の影響が心配されましたが、好天にも恵まれたこと、また、元請様に施工基盤、搬入路の確保に協力していただき、順調に完了できました。

【施工年月：平成19年9月13日～10月4日】



ボーリング柱状図



建物概要

名称	京都市擁壁工事	杭の種類	φ267.4 t=9.3 8m
施工場所	京都府京都市伏見区		φ267.4 t=9.3 10m
用途	擁壁	本数	221本
構造・階数	擁壁	杭先端深度	FH-8.0m、FH-10.0m
設計支持力	564kN	擁壁延長	210m

## G-ECSパイル

### 栃木県某結婚式場

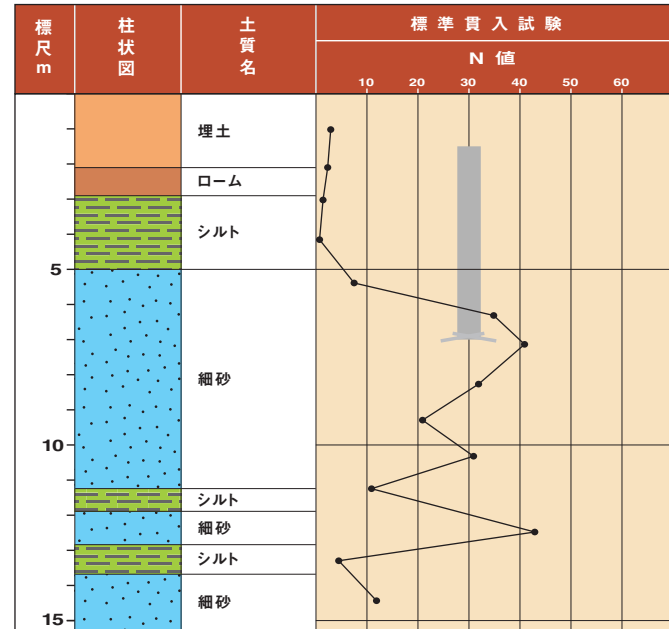
G-ECSパイル工法が、最も優れていると評価され採用。

本物件は、店舗の多い国道に近接した、閑静な住宅地の一角に建設する結婚式場の基礎工事です。住宅地ということもあり、低騒音・低振動型の施工方法、威圧感など周囲に影響の少ない工法、短工期、低コストなど多くの条件がありましたが、G-ECSパイル工法が最も優れていると評価され、採用いただきました。施工にあたっては元請様に準備など協力していただき、順調に進捗し、工期内完了を果たすことができました。

【施工年月：平成19年6月7日～6月8日】



ボーリング柱状図



建物概要

名称	栃木県某結婚式場	杭の種類	φ139.8 t=4.5 6m
施工場所	栃木県小山市		φ190.7 t=7.0 6m
用途	商業施設	本数	42本
構造・階数	S造2階	杭先端深度	GL-7.15m
設計支持力	φ139.8/143kN φ190.7/287kN	延床面積	2047.5㎡

株式会社 三誠  
SANSEI Inc.

本社 TEL:03-3639-5226 FAX:03-3639-8162  
北関東営業所 TEL:048-813-6612 FAX:048-813-6615  
ホームページ: <http://www.sansei-inc.co.jp>

茨城営業所 TEL:0299-36-7170 FAX:0299-48-0025  
新潟営業所 TEL:025-242-2180 FAX:025-242-2183  
メールアドレス: [info@sansei-inc.co.jp](mailto:info@sansei-inc.co.jp)

お問い合わせは、メール [info@sansei-inc.co.jp](mailto:info@sansei-inc.co.jp)  
または、FAX 03-3639-8162 (担当 内田) まで。